

DUO HAYASHI FRIENDLY CONCERT

デュオ ハヤシ フレンドリー コンサート

とっておき室内楽 XV
～トークを交えて～



cello 林俊昭

piano 林由香子



■ 第1部

L.v. ベートーヴェン：チェロとピアノのためのソナタ第1番 ハ長調 作品5-1

■ 第2部

M. ポンセ
：エストレリータ（デュオハヤシ編）
：エストレリータ（カサド編曲）

M.d. ファリャ
：ホタ（7つのスペイン民謡より）
：恐怖の踊り（恋は魔術師より）

I. アルベニス
：タンゴ（エスパーニャより）

H. ヴィラ＝ロボス：アリア（ブラジル風バッハ第5番より）
：前奏曲
：田舎の小さな汽車（ブラジル風バッハ第2番より）

♪ 演奏後にミニパーティがございます。

2014年11月2日（日）3：00 p.m.

ヒルサイドプラザ・ホール [代官山]

¥4,100 [3,796円+消費税] [全席自由]

■ お申込み・お問合せ：079-428-1699（中村）

デュオ ハヤシ

林 俊昭：チェロ 林 由香子：ピアノ

林俊昭は、青木十良氏に師事し、70年桐朋学園高校音楽科を卒業後、渡米。ボストン大学でナイクラッグ氏に学ぶ。

林由香子は、桐朋学園高校、同大学で井口基成、高柳朗子、岡林千枝子の各氏に師事する。2人は73年からデュオとしての活動を始め、77年に渡欧。プリース、ナヴァラ、フルニエ、ヤニグロ等、世界的巨匠である各氏に師事。80年、ローマのサンタ・チェチリア音楽院室内楽科を満点で卒業後、イタリアを中心に60回余のコンサートなど活躍。2枚のCDがイタリア一流音楽誌より最高評としての5つ星を得る。

その間、ミュンヘン国際、マリア・カナルス、トラッパニ国際、ヴィットリオ・ガイ国際室内楽など、数多くの国際コンクールで優勝、入賞する。

87年、林俊昭が大阪フィルハーモニー交響楽団首席チェリストとして就任(95年まで在籍)のために帰国。その後は室内楽の普及を目指し、メインの活動である「デュオ ハヤシ リサイタル」の他に、イ・ムジチやベニス合奏団のコンサート・マスターらを招いた室内楽シリーズ「デュオ ハヤシとイタリアの仲間たち」の全国公演を10回開催。大阪では、室内楽「隠れた名曲シリーズ」も第10回、東京での「デュオ ハヤシのとおき室内楽」は第15回を迎えた。

デュオ ハヤシは2013年に結成40周年を迎え、全国各地で記念演奏会を行う。帰国後これまでに5枚のCDをリリース、ヨーロッパ、アメリカへの演奏旅行も、15回以上行う。11年にはイタリア・フェルモ市で、デュオハヤシのイタリアでの長年の活動を賞して「ジオルダニェロ賞」を授与される。

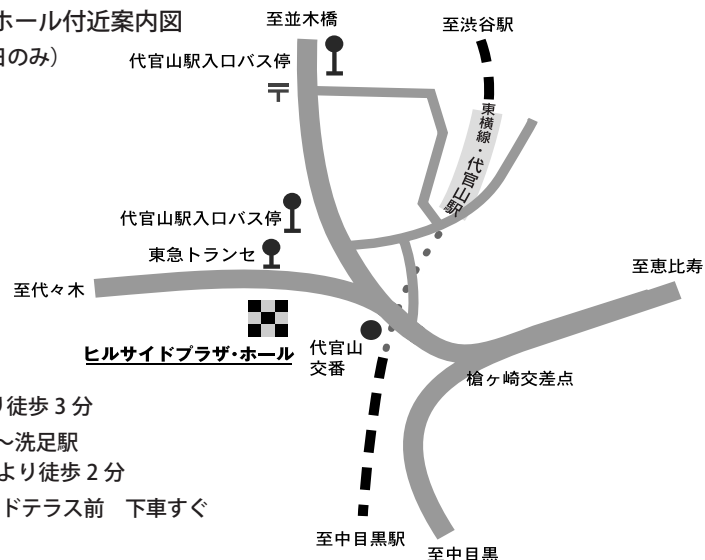
03年からはイタリア・クープラ国際夏期音楽祭で、チェロと室内楽のマスタークラスのレギュラー講師として招かれるなど、若い音楽家の育成にも力を注いでいる。また、日本では鳥取、出石、和歌山で「室内楽講習会」を20年にわたり主宰する。

林俊昭は、東京藝術大学チェロ科講師を15年、日本(大阪)センチュリーオーケストラ特別契約首席チェロ奏者を8年務め、現在は、徳島文理大学教授、名古屋音楽大学特別講師、紀尾井シンフォニエッタ東京、サワカルテットのメンバー。また、01年、05年、10年の「1000人のチェロコンサート」では、コンサート・マスターを務めた。(05年の指揮者は、ロストロポーヴィチ氏)

13年9月にはチェロとピアノ、ヴァイオリンとピアノの二重奏のための「第1回デュオハヤシ国際コンクール」をイタリアのサンタ・ヴィットリア・イン・マテナーノ市で開催。

●ヒルサイドプラザ・ホール付近案内図

TEL:03-3780-2029 (当日のみ)



- 東急東横線代官山駅より徒歩3分
- 東急バス渋71：渋谷駅～洗足駅
[代官山駅入口]バス停より徒歩2分
- 東急トランセ：ヒルサイドテラス前 下車すぐ
(渋谷駅南口発)